

副詞・連体詞

①

1

次の各文から、副詞と、それが修飾している文節を書き抜きなさい。

(1) かげろうがゆらゆら揺れる。

副詞 () 文節 ()

(2) 時がゆっくりと流れる。

副詞 () 文節 ()

(3) 今日はかなり寒い日だ。

副詞 () 文節 ()

(4) 窓をがらがらと開ける。

副詞 () 文節 ()

(5) ご飯を少し残した。

副詞 () 文節 ()

2

次の () に当てはまる言葉を、後のア～クから選び、記号で答えなさい。

(同じ記号は一度しか使えません。)

(1) なぜ来なかったのです ()。

(2) 最後まで決してあきらめ ()。

(3) よもや失敗はし ()。

(4) ぜひうち遊びに来て ()。

(5) たとえつらく ()、がんばろう。

ア	まい	イ	なら	ウ	ない
エ	ように	オ	だろう	カ	ください
キ	か	ク	ても		

3

次の各文の () に入る呼応の副詞として最も適切なものを後のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) () おいでください。

(2) () 失敗したら、どうしよう。

(3) () みんな元気でいるだろう。

(4) () 外国のお城のような家だ。

ア	おそらく	イ	もし
ウ	まるで	エ	必ず

4

次の各文から、連体詞を書き抜きなさい。

(1) 最近、おかしなことがひんばんにおこる。

(2) 庭に大きな木が生えている。

(3) 考えられる、あらゆる手段を用いる。

(4) わが国では、貿易が盛んである。

(5) いろんな話を聞いた。

(6) あの日のことは一生忘れないだろう。

